

## 卒業式行われる

3月3日(火)、本校第1体育館で午後1時から石黒仙北市長をはじめ28名の来賓をお迎えし第61回卒業式が行われました。

校長式辞では、本校を巣立つ108名の卒業生に対して、①学ぶ姿勢を失わないこと、②工夫する力を養うこと、③心を耕して欲しい、との三つの言葉が贈られました。

また、来賓を代表して石黒仙北市長からは「向上心を忘れず今後努力を怠らないよう」とのお言葉をいただきました。

新生徒会長の佐藤彩加さんの送辞、旧生徒会長の工藤実咲さんの答辞に続き式歌になると、ほとんどの卒業生の目には涙が浮かんでいました。

なお、卒業式に先立ち、千葉明子同窓会長の前で同窓会入会式が行われました。今年度で角南は80周年を迎え、総勢13,189名の同窓会の一員となります。卒業生たちは角南の歴史の重さを感じながら今後の飛躍を誓いました。



## 角南のひな飾り

角南の風物詩として、毎年2月になると、生徒会の手によって、管理棟と教室棟を結ぶ渡り廊下の前に7段のひな人形が飾られます。これは1936年に第6期生の卒業生から贈られたもので、これまで73年間、角南の生徒の成長をじっと見守り続けてきました。保存状態もよく、深紅の布の上に鎮座する、ま

るで生きているような「美男」、「美女」のひな人形を前に、職員、生徒は一足早い春の訪れを感じます。

角南生を一番よく知っている存在として、今後も角南がある限り、ずっと角南の発展を見守ってくれるでしょう。



## 自力進学ガイダンス

3月17日(火)に1、2年生を対象に「自力進学ガイダンス」が行われました。

例年だと新年度の4月に「進路ガイダンス」が行われ、進学と就職に分けて行われますが、100年に一度と言われる未曾有の大不況の中、来年度の就職は非常に困難が予想されます。そこで経済的に苦しかったら奨学金などを利用したりして、あらゆる方法を用いて自力で進学できることを目指してこのガイダンスが開催されました。

よく進路はマラソンに例えられますが、決定的な違いはスタートです。マラソンはスタートが一緒なのに対して、進路に関してはスタートが早ければ早いほど有利になります。生徒たちはこのことを自覚し、決してあきらめることなく自分の進路達成にむけて頑張ってもらいたいものです。

